

新花巻図書館の建設候補地に関する市民会議について

市では、新花巻図書館の「総合花巻病院跡地」「JR花巻駅前」の2つの建設候補地について、それぞれの候補地に建設した場合の整備事業費やイメージ図などを比較検討するための調査を実施し、「新花巻図書館建設候補地比較調査報告書」の提出を受けました。

その調査結果に基づき、建設候補地について、市民が対話を通じて互いの意見や考え方を共有できる対話による市民会議を生涯学園都市会館（まなび学園）にて4回開催しました。

1.市民会議の目的と参加者

■会議の目的

市民会議は「新花巻図書館建設候補地比較調査報告書」の資料などを基に、市民が対話を通じて互いの意見や考え方を共有し、会議で出された意見を可視化・整理することで、市が新花巻図書館の建設候補地を選定するための判断材料とすることを目的として実施しました。

■会議の参加者

- 令和6年3月末現在の住民基本台帳より15歳以上の3,500人を抽出し案内を送付
- 年代などのバランスについて配慮し、市内全地域から無作為で抽出
- 結果として、10代から80代の75名の方から参加申込

2.市民会議の内容

慶應義塾大学大学院特任教授の山口覚氏をメインファシリテーター（話の促進役）に迎え、世代別に参加者を11グループに分け、意見交換が行われました。

なお、各グループのテーブルファシリテーター（グループ内の進行役）は、山口教授の研修を受けた生涯学習部以外の市職員が担当しました。

市民会議には、42名の方が4回すべてに参加していただいたほか、19名の方が3回、6名の方が2回と多くの市民の方にご参加をいただきました。

市では、市民会議で話し合ったそれぞれの候補地のメリット・デメリット及びデメリットの解決策を「活性化」「文化・歴史」「他施設との連携」「周辺環境」「アクセス」「安全」「防災」「土地」「駐車場」「費用」といった10の視点で分類し、その10の視点の分類ごとにどちらの候補地が良いかや、分類項目の中でどの項目を最も重要視するか、図書館の建設候補地の選定プロセスに携わった感想などについて個別に記載していただき、分類や優先順位を取りまとめています。その結果については、現在、集計及び分析中ですが、取りまとめた内容については、今後建設候補地の選定にあたり、尊重して参りたいと考えています。

■実施内容

第1回 令和6年11月17日（日） 13時～17時

「新花巻図書館建設候補地比較調査」の結果について説明をしたのち、候補地ごとにメリットやデメリットについて、全員で対話をしながらまとめました。

第2回 令和6年12月21日（土） 13時～17時

前回話し合いで出された候補地ごとのメリットやデメリットについて不足がないか確認し、項目の追加や修正を行いました。また、会議開始前に、希望者（9名）により、フィールドワークを行い、それぞれの建設候補地の周辺を歩いて確認しました。

第3回 令和7年1月26日（日） 13時～17時

前回までに挙げられた候補地ごとのデメリットの解決策について考え、追加や修正を行い、これまでの対話をふまえて自分がどう思うか話し合いました。

第4回 令和7年2月15日（土） 13時～17時

これまでの対話を経て、自分がどう思うかなどをグループ内や他のグループでも話し合い、その後、自分の考えをヒアリングシートに記入しました。

【参考】参加者の感想（確認4「市民会議の位置付け、やり方」及び確認5「建設候補地のプロセスに関わった感想」より 一部抜粋）

- 市民会議の方式は、市民が色々な意見を出し合い、良いアイデアや新たな視点を知ることができるのでこういう機会が増えるとよいと思った。（40代）
- 多くの市民の意見を聞くというのは良い。先入観やイメージだけではわからなかったメリットやデメリット、デメリットの解決策について深く掘り下げることができた。（40代）
- 以前住んでいた市では、このような多くの年代が集まり、それぞれの意見を聞く機会はありませんので、大変興味深かったです。今後、どの候補地になったとしても、今回の市民の声が活かされることを望みます。（30代）
- 60歳をすぎて、このような機会があるとは思っていなかったなので、楽しかったです。ファシリテーターが良かったのだと思います。（60代）
- 若い人達と討論できる場に加えていただき大変感謝しております。若い人達に頑張ってください。（70代）
- 今まで市の施策等決められたことに無関心なところがあった。今回参加させていただいて本気で考えることが必要だと思った。（60代）
- 市民同士が話し合うことの重要性が理解できた。何かを決めるときに今後もこの方法を使っていたきたい（20代）
- 山口さんの進め方はとても感心し、もっとお話を聞きたいと思いましたし、今後も携わってくれたら、円滑に進みそうとも思いますが、市の職員がノウハウ等を教わって今後やっていくやり方はありそうだなと思いました。（20代）
- 最初もっていた意見とは違う意見を聞くことができ、自分が成長することができたと思う。どちらの候補地になっても納得できるので、図書館の完成を楽しみにしている。（10代）
- 市民の意見を取り入れるという市の姿勢は評価したい。候補地選定から考えたかった。（60代）
- 最後にヒアリングシートという形式で集約が図られたことは、なるほどと目から鱗だった（60代）
- 発言力のある人ばかりが話すことなく広く意見を聞くことが出来て良かった。（20代）
- 市民の声を参考にしてくださることに感謝します。（60代）

■市民会議を終えての市長コメント

新花巻図書館の建設候補地に関する市民会議は、予備日としていた2月15日を含め、1回4時間の会議を4回も開催いたしました。

ご参加いただいた市民の皆さんには、新花巻図書館の建設候補地について真摯に話し合いをしていただき大変感謝しております。

市といたしましては、市民の皆さんの対話による市民会議で出された意見を非常に重く受け止めて、建設候補地を定めるための判断材料として尊重して参りたいと考えています。